

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会選

佳作 宮崎喜美子

七回忌墓所に桜は巡り咲き花好き義姉に供華や香れや

佳作 山根千代美

理数への夢たぎり燃ゆ都へと羽ばたくごとく孫旅立ちぬ

互選 森 ゆき子

産んでくれてありがとうと巣立ちゆく十五の君は前途洋洋

互選 吉谷 富穂

物忘れ齡と思へば氣にならず短歌を詠める楽しみがある

互選 小畑 定弘

散る花の真下に父の墓ありて白き花びら柄杓に流す

互選 高尾 久枝

嫁に来て祖母に習いししきたりを調え飾り年神を待つ

互選 喜来富士子

桜花ゆらして翔べる鳥のあり余命みじかき夫と歩めば

俳句

阿南市俳句連合会選

久米 千草

めでたさを云ひて初老の御輿かく

故里を詰めて子等へと秋送る

鎌矢美代女

豊の秋一心に打つ太太鼓

石井 政子

月の兎に夢の膨らむ童かな

加藤 和子

焼栗の跳ねて話の弾みけり

佐野 峯子

街道に一里塚あり曼珠沙華

平 イチ子

絵の虎と睨み合うたり秋の寺

勝瀬奈奈子

子沢山漬物樽の冬用意

大平 夏子

豊の秋母のおにぎり俵型

寿田 淳乃

ちちろ鳴く窓辺に枕移しけり

山川 喜美

川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

雑草に気づきもしない覇者の靴

高木 旬笑

回転寿司皿分け合ってハート射る

野口 吾朗

やさしさをあなたに分けて福もらう

二階千代美

手を抜かぬ汗が希望に灯をともし

野村 敏子

老春は本の中から恋拾う

田上 鶴子

手のひらでおにぎり握る愛情だ

佐野 智子

一般応募

豊かさに慣れてモラルを外す子ら

島尾美津子

ふくよかな胸は秘密の隠し場所

仁井 信子

好奇心なくして老いが加速する

武田 敏子

秋夜長好きなこととして日が替わる

吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

歳晚書懷

混沌世情多難中

混沌たる世情 多難の中

折野 博子

光陰如矢歳將終

光陰は矢の如く 歳將に終らんとす

未復罹災悼傷跡

未だ復さず罹災 悼傷の跡

恭祈再起待春風

恭んで再起を祈り 春風を待つ

荒瀬左知子

歳晚書懷

光陰如矢轉凄然

光陰矢の如く 転凄然

老嫗寒厨孤月穿

老嫗の寒厨 孤月穿つ

桂玉平生交誼厚

桂玉の平生 交誼厚し

歳云暮矣晚花妍

歳云に 暮れ矣 晚花妍なり

※桂玉：物価の高いことのとえ

四國靈場二十一番太龍寺

老樹碧枝遮俗世

老樹の碧枝 俗世を遮り

深秋紅葉映僧堂

深秋の紅葉 僧堂に映ず

龍嶽求聞空海論

龍岳 求聞 空海の論し

法燈千載洽餘光

法燈 千載 余光洽し

大野シゲ子